



夕日が日増しに綺麗になってきました。水色、ピンク色、オレンジ色、赤色など西の空は、刻一刻と表情を変え芸術的で感動します。毎日違った景色を作り出す大空を、是非お子さんと一緒に見上げてみてはいかがでしょうか。

目の話



子どもの視力は6歳頃になると大人と同じくらいまで発達します。テレビやゲーム、パソコン、スマートフォンなど現代の環境は子ども達の目の発達を妨げる危険性があります。目の機能を育てるためにルールを決めて上手に利用していきましょう。



目の病気（代表的なもの）

目の病気には眼球自体の病気、まぶたの病気、涙の異常により起こる病気があります。

アレルギー性結膜炎 目の表面にアレルギー（花粉など）が付着し、結膜に炎症を起こす病気	感染性結膜炎 細菌やウイルスが目に感染し結膜に炎症を起こす病気（原因菌が感染力の強い場合がある）	感染性角膜炎 角膜に細菌やカビなどが感染し、炎症を起こす病気	ものもらい（麦粒腫） まぶたにある脂や汗を出す腺に細菌が感染して起こる病気（まぶたの病気）
結膜下出血 結膜下の小さい血管が破れて出血する病気（白目が赤くなる）	ドライアイ 涙の量が不足または涙の質のバランスが崩れ、涙が均等にいきわたらない病気（涙の病気）	近視、遠視、乱視 目に入ってきた映像の焦点があわない病気	斜視 目を動かす筋肉や神経に僅かな異常があり、黒目の位置がずれ一緒に両目で物を見ることが難しい病気

*子どもは、今見えている状況が正常なのか問題なのか自分で判断できません。そばにいる大人が子どもの様子をよく観察し、気になる時は眼科を受診することが大切です。目ヤニ、充血、痒みなどは病気の症状です。すぐ受診をお願いします。

目の病気百貨 参天製薬から

結膜：まぶたの裏側と白目の部分
角膜：黒目の部分



朝晩、肌寒く感じるようになりました。そろそろ長袖を着せようかと迷ってしまいます。朝晩はそれでいいのですが、日中はまだ暖かく園庭で遊ぶ子ども達の顔は真っ赤です。また、長袖を1枚だけ着せるより肌着と半袖の重ね着の方が保温効果はあります。長袖やトレーナーを1枚着せるより重ね着で衣類調節をしましょう。

- *子どもの服選びは『大人より1枚少ない=薄着』が基本です
- *外気による温度刺激は皮膚を強くし体の鍛錬になりますので、手や足は温度刺激を受けやすい服がいいですね。勿論、体幹は冷やさないのが原則です！
- *ロッカーに半袖と長袖シャツ両方の用意をお願いします。

ひまわり組のお子さんを対象に簡易視力測定を行います。

あくまでも簡易的なものですので、気になる結果が出た時は眼科を受診してください。

*カードにウサギの顔が描いてあります。カードによってウサギの目の大きさが違います。ウサギの目が見えるか見えないかで視力を測定するものです。

園医の一言

保育園では手足口病で受診するお子さんがいるようですね。診療所では感染症は流行していませんが、体調を崩して受診するお子さんが多いです。ご注意ください。10月4日付

